

平成26年度第2回(第42回)CPD WG 委員会議事録

日時：平成26年7月2日(火) 10:00 ~ 11:30

出席者：(順不同、敬称略)

会長 広崎 膨太郎 (日本工学会 副会長)
副会長 宇野 研一 (日本工学会 担当理事)
主査 浅野 健治 (化学工学会) (文責)
委員 木村 軍司 (電気学会)

議事

1. 前回議事録の確認

前回議事録は原案どおり承認。

CPD WG メンバーに機械学会から参加については4項で記述

2. 今年度活動の進捗報告

- ① 各学協会の CPD プログラムの入門編となる JST WEB ラーニングプラザのカリキュラムについて一覧表にまとめた上、説明実施。

JST のメンバーの方に JST の教育体系について、広崎副会長が JST の要職を兼ねておられるので、中村理事長様にご講演を賜る方向で検討していくことにした。

- ② 電子情報通信学会で WEB で公開されている「知識ベース」構成一覧について説明

3. 今後 CPD の進め方について

日本工学会の予算規模を勘案した上で、日本工学会での CPD 進め方について議論する必要がある。

- ① 原子力学会については、喫緊の課題であり、横断的連携を強めて更にサポートしていかなければならない。

- ② サイズによる ECE の活動は CPD の上位活動であり、効果をあげている。

CPD と ECE の関係をより明確に再定義した上、ECE プログラムについては日本工学会のホームページで公開する方向で進めていきたい

- ③ 日本工学会は何故 CPD を推進するのか、CPD 活動の再定義が必要である分野を大別すると(1)基礎 (2) 鉱業・金属 (3) 機械 (4) 構造(建築・土木) (5) 電気 (6) 化学系に分類される

◇アーカイブとソフトを共通化する。

◇転職時のポイントとして活用する 例えば 専門分野 50 点 近傍分野 5 点
転職の際に役立つ分野 10 点

4. CPD WG メンバーに日本機械学会のメンバーがいないため、広崎会長のお力をお借りして、日本機械学会に依頼する

以上

5. その他

- (a) 浅野が関係者に参加依頼することが承認された。

以上